

早めの要望が増設への道

児童育成課懇談会の報告

5月19日に市役所大会議室で19時から児童育成課と施設及び増設の懇談会を行いました。今年度は6ルームからの参加で直接訴える事が出来ました。

4
ル
ー
ム
を
増
設
予
定
！

まずは、今年度増設の決定しているルームに付いて6月24日に増設の説明会を予定しているとの事でした。教室利用のルームでの工事予定に付いては、7月中旬頃から工事開始し10月からの入所を予定しているそうです。

来年度、増設候補に付いては、今年度待機児童の多かったルームを優先的に検討しているが、予算の都合上、その内4ルーム程度を増設するであろうとの事です。既に増設が決まっているルームを除けば海神放課後ルームが一番多くの待機児童がいるため、最優先で考えているそうです。船橋放課後ルームに於いては、増設の必要性は十分解っているが、現在では、ルームを増設する場所が無く非常に苦慮していると言うことでした。

上記にあるように増設の順位が待機児童の多さを基準に考えて行く事は行政としても正しい判断だと思えます。入れないから申し込まないと言う方も多くいらっしゃいますが、それでは必要性が認知されません。入れなくても入りたいと言う意志表示が必要である事を痛感しました。

また、現在半数近くのルームで定員100%を超える状況にあります。その上、毎年のように利用者が増えていく中、単純に考えてこのままでは増設が間に合いません。入所出来ない事を前提に次のような提案が父母から出されました。

待機に対する当面の対策(父母提案)

1. 近隣ルームへ通わなければならなくなった場合、他ルームへ通う人達へ一緒に通える児童の紹介や安全に通えるルート、ハザードマップ等の事前説明会を行って欲しい。
2. 夏休みだけでも4年生以上を定員の120%枠で入所させて欲しい。
3. 近隣の公共施設での代替ルームが出来るように検討出来ないか、もしくは児童ホームに学校から直接行かれるような処置は出来ないのか。

以上の要望について、担当課にも前向きに検討して頂くようお願いしました。

今年で3年目になるこの懇談会ですが、直接父母の意見が反映されて行くようになって来ました。自分達のルームは自分達で要望していく事に大きな成果が見えてきています。今後もこのような機会を持ちますので諦めずに是非直接訴えて下さい。(事務局)

放課後ルームによようこそ！

～ はじめてのルーム、1年生父母の感想 ～

題名「理想郷!？」

「やだな～」と娘。

「えっ、放課後ルームのどこがいやなの？」
もうはやトラブル発生かと青ざめる母。

「だって早く迎えに来るんだもん」

「えっ??」

「せっかくおはじきで遊んでたのに～」

「あっ...それってもしかして放課後ルームが
とっても楽しいってこと？」

「うん！」

いや～ホッとしました。

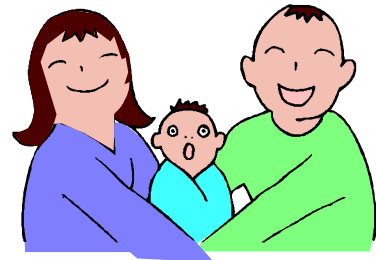
初日の緊張も、先生や、保育園で一緒だった、
Iちゃんのやさしいお出迎えですっかりほぐ
れて、どうやら今はルーム生活を満喫してい
る様です。

楽しいことは、おはじき・タイヤ鬼・読書。
お気に入りのおやつは「ゆず飴」だそうです。
逆にルームで嫌なことは「一年生だというこ
と。」

早く2年生や3年生になって、タイヤ鬼の時
に青や白の高いタイヤに登りたいらしいので
す。

(本当はちょっぴり怖いみたいですが...)

保育園の様にいろんな学年の友達と広～い校
庭でワイワイ遊べる放課後ルームは、子供に
とっての「理想郷」なのかもしれません



我が家は2人姉弟。この4月から下の弟が
放課後ルームに入所しました。

保育園にいたころから、姉を迎えに一緒にル
ームに顔を出していたこと、また、同じ保育園
から何人もの友達が一緒に入所したこと、
そしてなによりも良き理解者(?!)の姉が
いることで大きな戸惑いもなくルームでの生
活をスタートすることができたように思いま
す。

入所してからまもなく一ヶ月が過ぎようと
していますが、ルームでの一日のすごし方に
も慣れ、とても有意義に楽しんでいます。
ただ、100%の力を出し切ってくるので、
家に着き、身の回りのことや明日の準備が終
わるとエンジンが切れてしまい、気がつく
と寝ていることもまだありますが、そう
いえば上の子もそうだったなあ・・・と
懐かしんでいます。これからも、指
導員の先生方に温かく見守っていただき
ながら、のびのびとルーム生活を送って
いけたらいいな・・・と思っています。

法典西 柳橋 (母)

子ども自身、とても楽しく通っています。学校は違うけれども、お友達も出来、先生の名前も覚えて大変お世話になっているようです。この頃では、ここまで慣れてきたのに、もし自分の学校に空きが出たときにルームが変わることがとてもかわいそうに思えます。それもやはり市の都合に合わされてしまうのでしょうか…しかし、帰りを迎えられない不安を解消する為のルームなのに、無事に着いているのか、もし途中で雨が降ってきたらどうしよう…など、親の心配は募るばかりです。幸い、小学校の先生やルームの先生がとても良い方で、かなり助けられています。早く親子ともどもこの生活に慣れ、もう少し心にゆとりが欲しいと思うこの頃です。 薬円台南 白土

ほのぼの保育報告

お誕生会

毎月、ルームでお誕生会を開いています。

誕生会の時は、いつもとはちょっとちがうおやつを出すようにしています。この日のメインおやつは、子どもたちの大好きなたまごアイス！ゴムの先を切ると、手のあたたかさで溶けてきて、アイスがどんどん出てきます。初めて食べる1年生の子に、「おいしいんだけど、爆発しないようにね」と、教えていた2年生。（前に爆発したんだよね。）みんなまわりを気にしつつも、うれしそうに食べていました。

その後、誕生月の子に宛てたおうちの方からのメッセージカードをみんなの前で紹介しました。最初は「えー、読むの？」と言った子も、おうちの方からの「おめでとう！

おおきくなったね」というメッセージを読まれると、ちょっと照れくさそうにしながらもしっかり聞いているのでした。

そして最後にみんなであそぶゲーム。今回は、「新聞乗りゲーム」（別名：沈没船ゲーム）です。

3人組を作って、新聞紙に乗り、ほかのチームとじゃんけんします。負けるたびに新聞を半分にたたんでいき、3人が乗れなくなったら「ちんぽつ～！」。今回はトーナメント戦でやることに。

2年生の女の子2人と一緒に組むことになった4年生のお兄さん。やらないって言うかなと思ったら、「こうやって折った方がいいから」と乗りやすい折り方を考えたり、「もうおんぶするしかないかー」と作戦を練って2年生を引っばってくれました。2回戦で惜しくも負けてしまいましたが、その姿を見ていたら「まだいける！」と応援したくなりました。今回は、1、2年生男の子チームの優勝！じゃんけんゲームは1年生にもすぐできて盛り上がるので、みんなで楽しむ誕生会にはもってこいです。

こんなささやかな会ですが、1年に1回、自分が主役になれる誕生会。みんなで楽しめる時間ができればいいなと思いながら、毎月企画しています。（つる）



がくどうキャンプ



8月26日(土)～27日(日)1泊2日 応募人数 先着 150名
7月9日(日)13時から参加者説明会&子ども会議 場所:船橋市中央公民館
昨年大好評だった「がくどうキャンプ」を8月26日(土)～27日(日)の1泊2日で「茨城県立白浜少年自然の家」にて実施します。親同士の交流を深めるとともに、夏休み最後の楽しい思い出作りには是非ご参加ください。

茨城県立白浜少年自然の家

広々とした自然の中で、少年たちがのびのびと活動しながら、お互いの心と心をかよわせ合い、助け合う集団宿泊生活を体験することによって、情操を豊かにし、社会生活を培うとともに、心身を鍛えることを目的として、開設された施設です。



期 間 8月26日(土)～27日(日)1泊2日

宿 舎 茨城県立白浜少年自然の家

(潮来インターの先)

茨城県行方市白浜1466

電話 0299-73-2345

交通機関 電車・車を利用(現地集合・現地解散)

費 用 4,500円(大人) 3,500円(小学生)

申 込 6月1日から fghrk_info@freeml.com まで、先着順です。



市連協総会のお知らせ

6月25日(日) 13:00～中央公民館

個人でも参加できます。みなさん、お気軽にご参加ください。

「船橋市学童保育連絡協議会」(略称・市連協)とは・・・

船橋市内の放課後ルームに子どもを通わせている父母、働いている指導員、そしてサポーターの市民がつながりあい、連絡をとりあいながら、保育の充実・発展のために活動している団体です。毎月定例会では父母会活動の交流、秋には「がくどうまつり」みんなの要望をまとめて、市の担当課(児童育成課)との話し合い、ほかにも市内の子育て団体と協力してさまざまな活動をしています。

加盟募集中です。父母会単位でも個人でも参加できます。